

## II. 調査の結果

### 平和施策の推進について

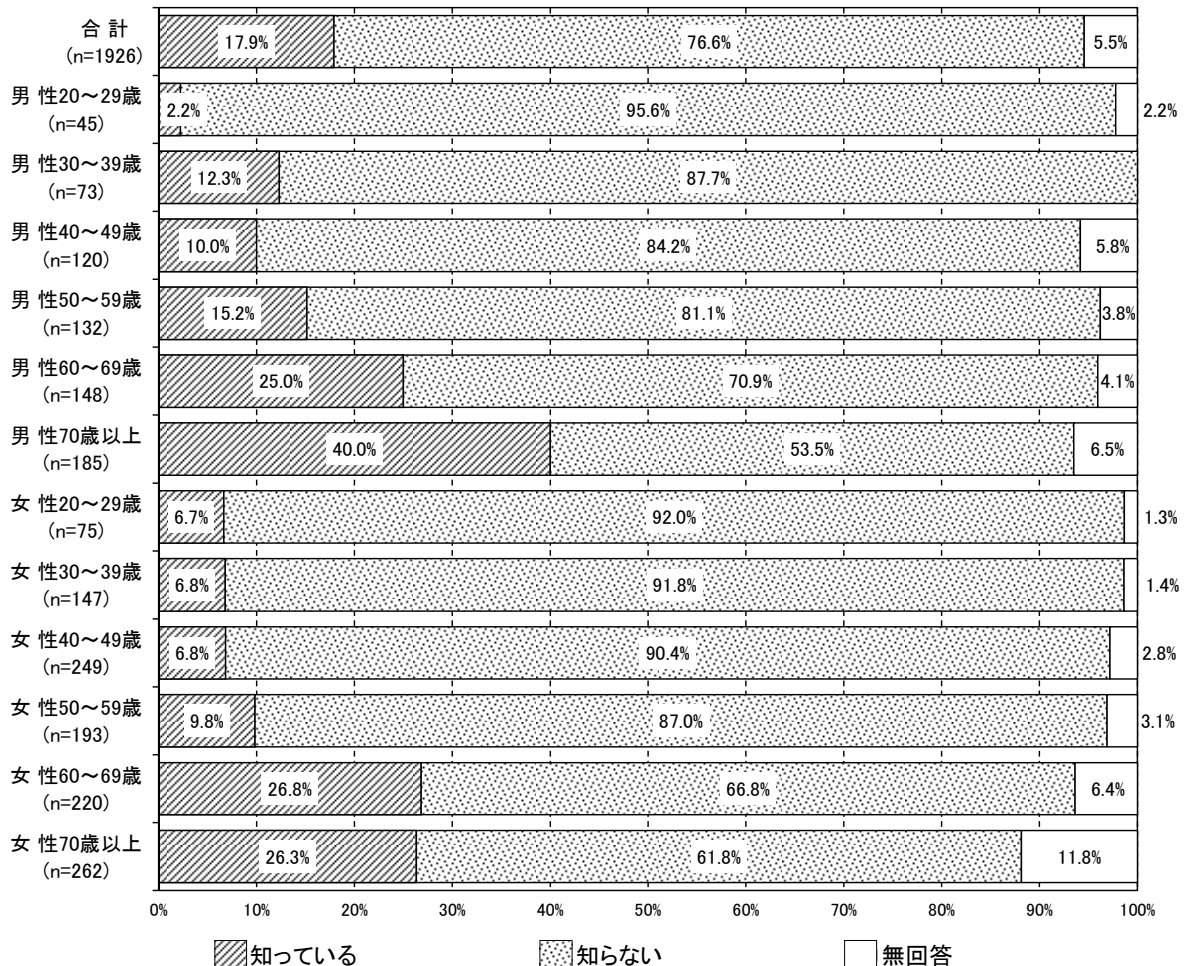
戦後70年が経過し、悲惨な戦争の記憶が薄れつつあるなか、平和の大切さを再認識し平和を愛する社会をはぐくみ、築くことが求められています。今回、市民の皆さまからご意見をお聞きし、今後の平和啓発事業に役立てていきたいと考えています。

#### 問9 西宮市と共に平和施策事業を推進している「原水爆禁止西宮市協議会（原水協）」を知っていますか。

「原水爆禁止西宮市協議会（原水協）」を知っている人は約18%。

- ・回答者全体では17.9%が「知っている」としている。
- ・全体的に男性の方が「知っている」とする割合が高い傾向がある。
- ・高齢の世代ほど「知っている」とする割合が高く、男性では60歳代で25.0%、70歳以上で40.0%が、また女性では60歳代で26.8%、70歳以上で26.3%が、「知っている」と答えている。

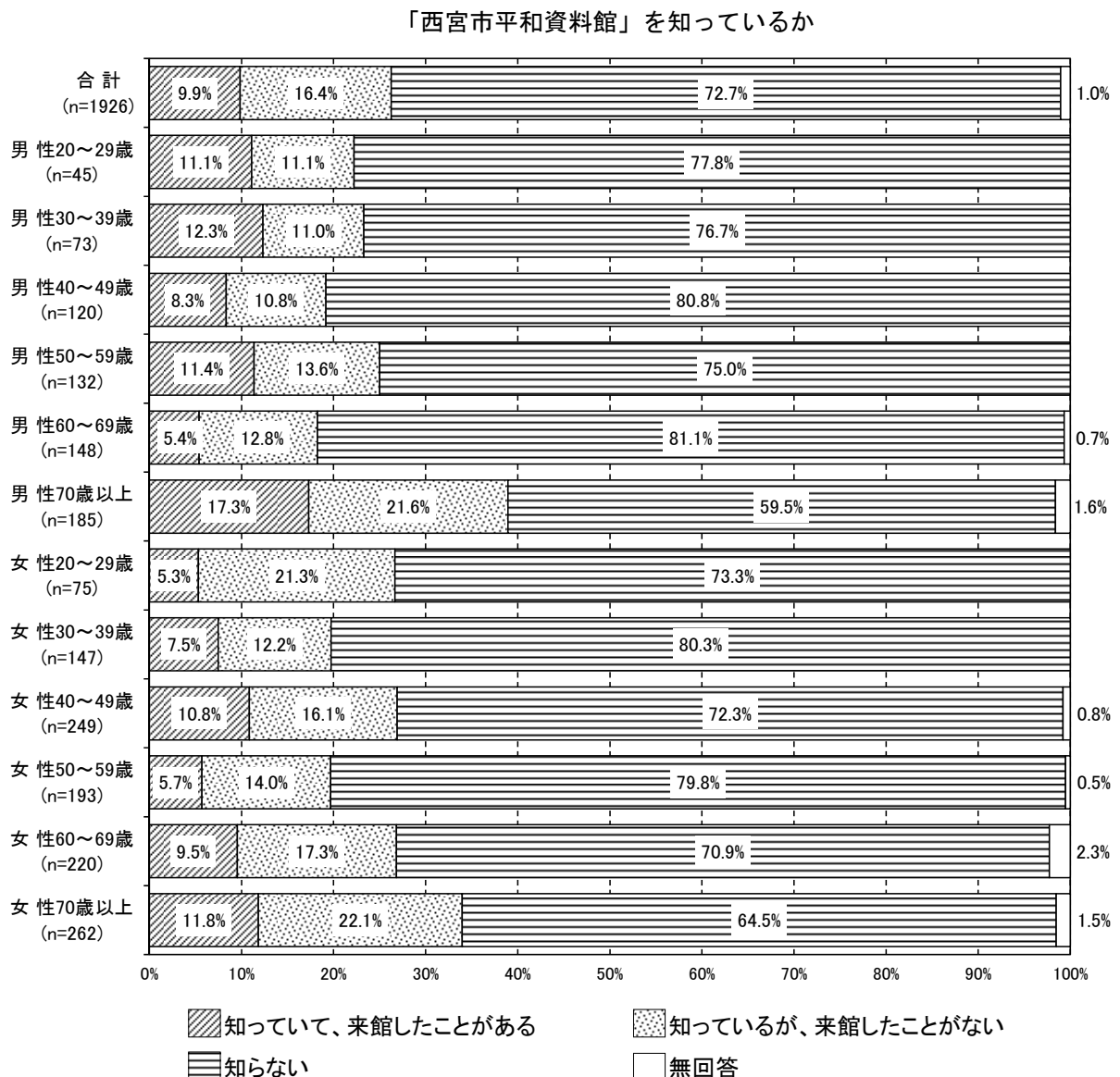
「原水爆禁止西宮市協議会（原水協）」を知っているか



**問 10 市民の方から寄贈していただいた戦争関係資料を展示している「西宮市平和資料館」を知っていますか。（平和資料館は、西宮市中央図書館が入っている教育文化センター1階にあります。）（1つ選んで○）**

「西宮市平和資料館」を知っている人は約 26%。

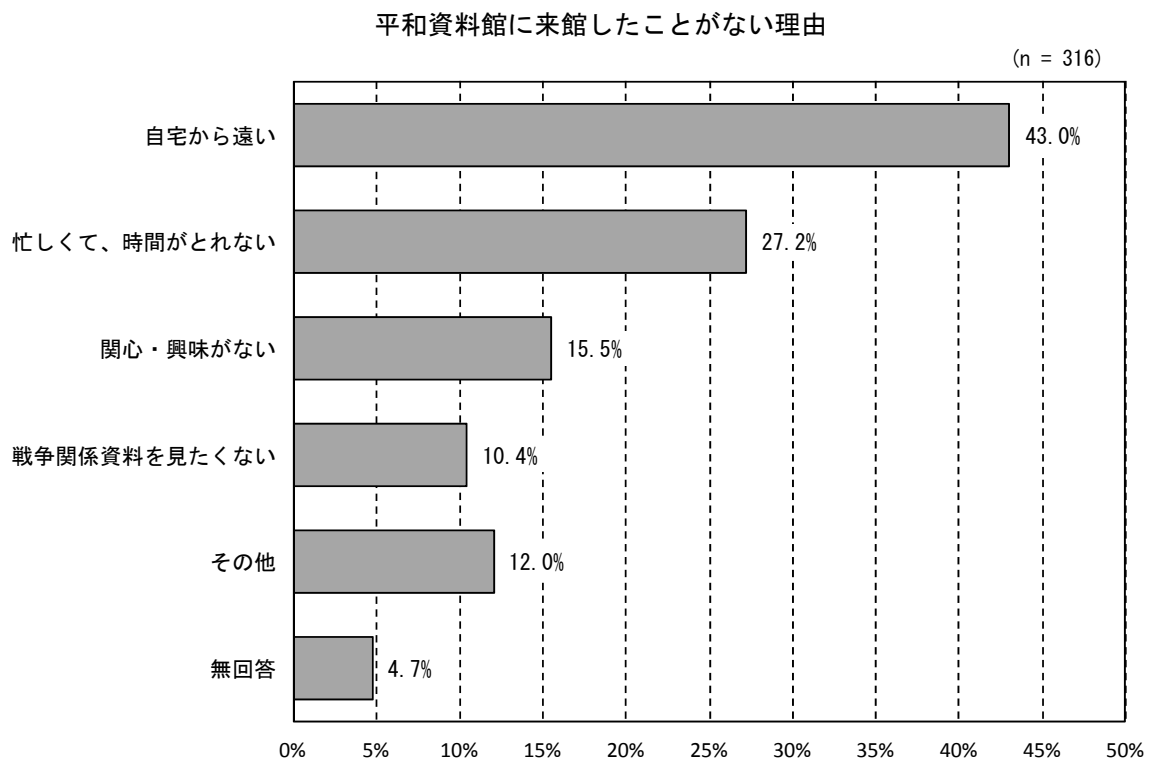
- ・回答者全体では 9.9%が「知っていて、来館したことがある」、16.4%が「知っているが、来館したことがない」としており、合計 26.3%が「知っている」としている。
- ・「知っていて、来館したことがある」、「知っているが、来館したことがない」の割合が最も多いのは、男女ともに 70 歳以上である。70 歳以上の男性では「知っていて、来館したことがある」が 17.3%、「知っているが、来館したことがない」が 21.6%で合計 38.9%となっている。70 歳以上の女性では「知っていて、来館したことがある」が 11.8%、「知っているが、来館したことがない」が 22.1%で合計 33.9%となっている。



問 11 問 10 で、「知っているが、来館したことがない」に○を付けた方にお聞きします。平和資料館に来館しない理由はなぜですか。（あてはまるものをすべて選んで○）

平和資料館を知っているが来館したことがない理由は「自宅から遠い」が最も多い。

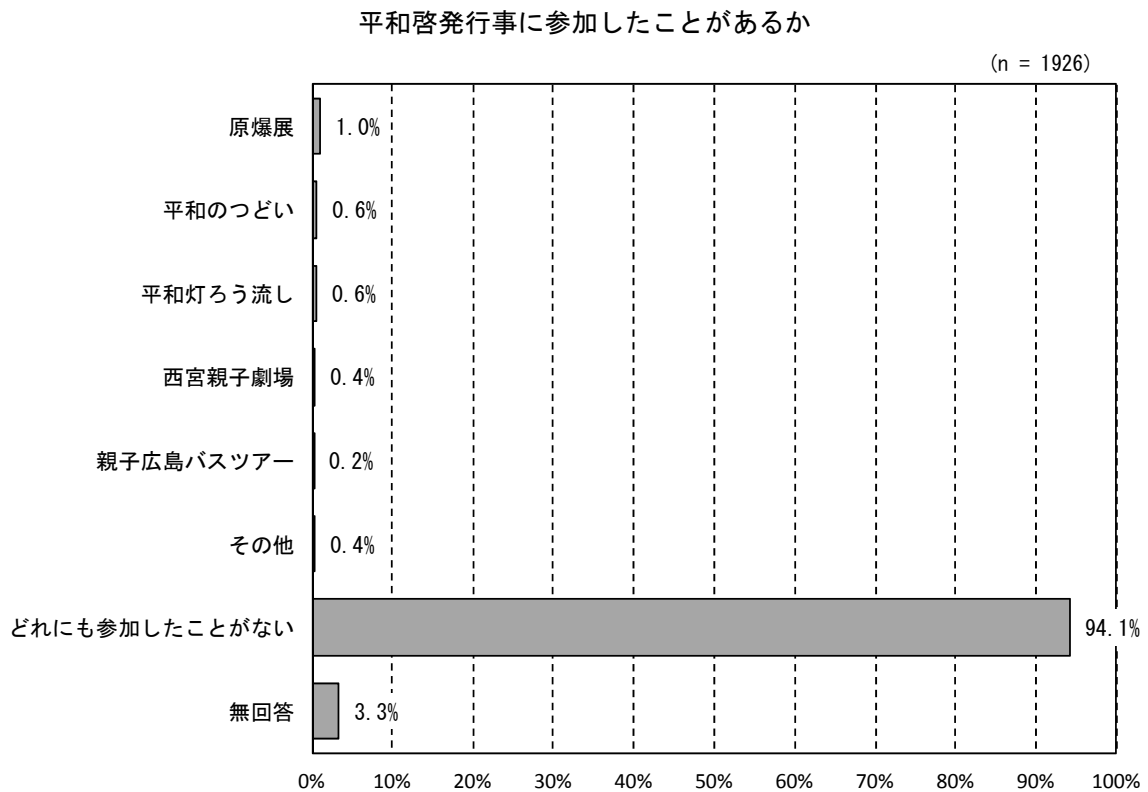
- 平和資料館に来館しない理由として、最も多い回答は、「自宅から遠い」で 43.0%、次いで「忙しくて、時間がとれない」が 27.2%となっている。
- その他としては、主に「身体の具合が悪い」や、「場所がわかりにくい」、「車で行きづらい」のほか、「展示内容の詳細を知らない」や「子どもが大きくなったら一緒に行きたい」などという回答があった。



問 12 直近 1 年間で、市と原水協が取り組む平和啓発行事に参加したことがありますか。(あてはまるものをすべて選んで○)

「どれにも参加したことがない」が 94%以上。

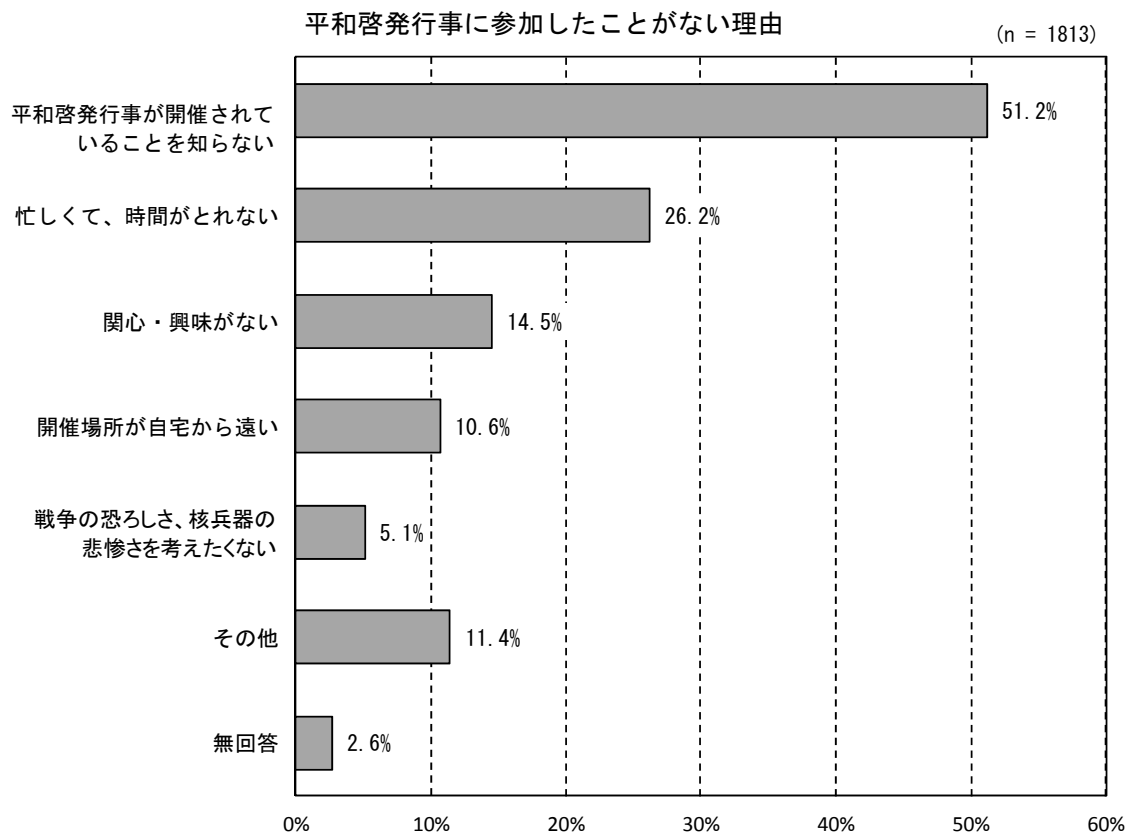
- 平和啓発行事への参加について、最も多い回答は「どれにも参加したことがない」で 94.1%となっている。
- 行事の中で参加したという回答が最も多かったのは「原爆展」で 1.0%である。



問 13 問 12 で「どれにも参加したことがない」に○を付けた方にお聞きします。  
平和啓発行事に参加しない理由はなぜですか。(あてはまるものをすべて選  
んで○)

行事に参加しない理由は「平和啓発行事が開催されていることを知らない」が最も多い。

・平和啓発行事に参加しない理由として、最も多い回答は、「平和啓発行事が開催されていることを知らない」  
で、51.2%、次いで「忙しくて、時間がとれない」が26.2%となっている。



- 年齢・性別にみる回答の割合は、「平和啓発行事が開催されていることを知らない」が、どの年齢・性別でも高い。「忙しくて、時間がとれない」は、40～50歳代で男女ともにやや高い。「戦争の恐ろしさ、核兵器の悲惨さを考えたくない」は、70歳以上で男女ともにやや高い傾向にある。「関心・興味がない」は、20～30歳代の男女と60歳代の男性で、高い傾向を示している。
- その他としては、主に「身体の具合が悪い」や「個人的に広島に行った」、「広島出身で十分学習してきた」、「自身や身近に戦争体験者がおり、よく知っている」、「行事についての広報が少ない」などという回答があった。

(単位：%)

	忙しくて、 時間がとれない	開催場所が自宅から遠い	平和啓発行事が 開催されている ことを知らない	戦争の恐ろしさ、 核兵器の悲惨さを 考えたくない	関心・興味がない	その他	無回答
全体(n=1813)	26.2	10.6	51.2	5.1	14.5	11.4	2.6
男性 20～29 歳(n=44)	25.0	6.8	50.0	0.0	27.3	6.8	2.3
男性 30～39 歳(n=70)	22.9	7.1	60.0	4.3	20.0	7.1	0.0
男性 40～49 歳(n=116)	37.1	4.3	56.9	3.4	10.3	7.8	1.7
男性 50～59 歳(n=131)	35.9	6.1	55.0	0.8	15.3	6.9	0.8
男性 60～69 歳(n=144)	22.2	8.3	49.3	2.8	22.9	16.7	0.7
男性 70 歳以上(n=160)	6.3	16.9	47.5	8.8	14.4	15.6	4.4
女性 20～29 歳(n=72)	33.3	6.9	52.8	2.8	23.6	6.9	2.8
女性 30～39 歳(n=144)	34.0	7.6	57.6	3.5	19.4	9.7	2.8
女性 40～49 歳(n=241)	37.3	6.6	50.6	4.1	12.9	10.4	1.2
女性 50～59 歳(n=187)	36.9	12.8	55.6	4.8	9.6	10.7	1.6
女性 60～69 歳(n=201)	21.9	12.4	51.7	5.0	11.9	11.4	3.0
女性 70 歳以上(n=235)	11.1	19.6	40.9	10.6	8.5	17.4	5.5

※表内の網掛け部分は、全体を10ポイント以上上回るものを示している。

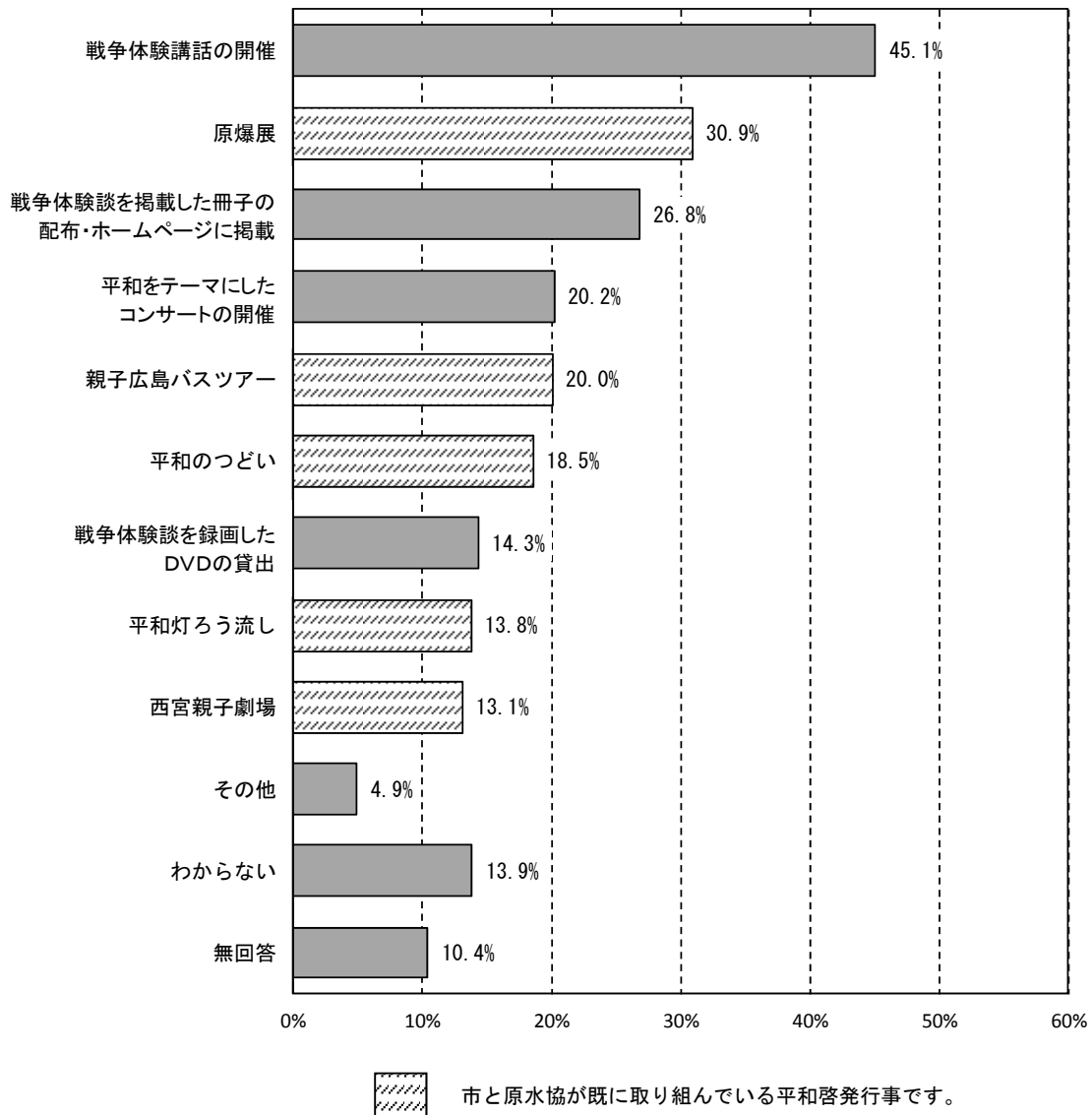
**問 14 平和の大切さ・戦争の悲惨さを啓発するのに効果があると思う行事等は、どのようなものですか。（あてはまるものをすべて選んで○）**

平和の大切さ・戦争の悲惨さを啓発するのに最も効果があると思われる行事は「戦争体験講話の開催」。

- 平和の大切さ・戦争の悲惨さを啓発するのに効果があると思う行事等として、最も多い回答は、「戦争体験講話の開催」で45.1%、次いで「原爆展」が30.9%、「戦争体験談を掲載した冊子の配布・ホームページに掲載」が26.8%となっている。
- その他としては、主に「学校での教育」や「戦争映画などの鑑賞」などという回答があった。

平和の大切さ・戦争の悲惨さを啓発するのに効果があると思う行事等

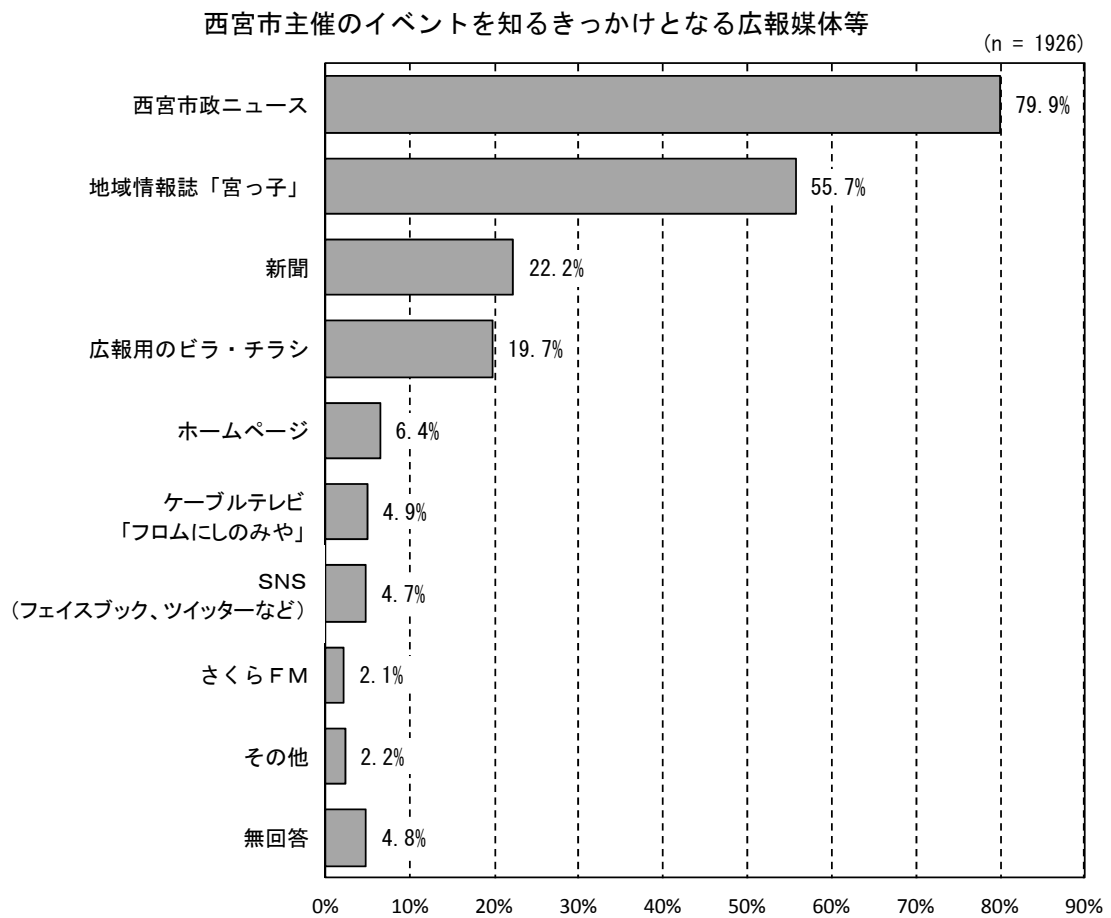
(n = 1926)



問 15 あなたが平和啓発行事に限らず西宮市が主催するイベントを知るきっかけとなる広報媒体等はどのようなものですか。(あてはまるものをすべて選んで○)

西宮市主催のイベントを知るきっかけとなる広報媒体等で最も多いのは「西宮市政ニュース」。

・西宮市が主催するイベントを知るきっかけとなる広報媒体等として、最も多い回答は、「西宮市政ニュース」で79.9%、次いで「地域情報誌「宮っ子」」が55.7%となっている。





- ・年齢・性別にみる回答の割合は、「西宮市政ニュース」が、どの年齢・性別でも高いが、男性より女性の方が割合が高く、60歳代の女性で特に高い。「SNS（フェイスブック、ツイッターなど）」は20歳代で男女ともに高い。「地域情報誌「宮っ子」」は、「西宮市政ニュース」と同様に、男性より女性の方が割合が高く、50歳代以上の女性でやや高い傾向がある。

(単位：%)

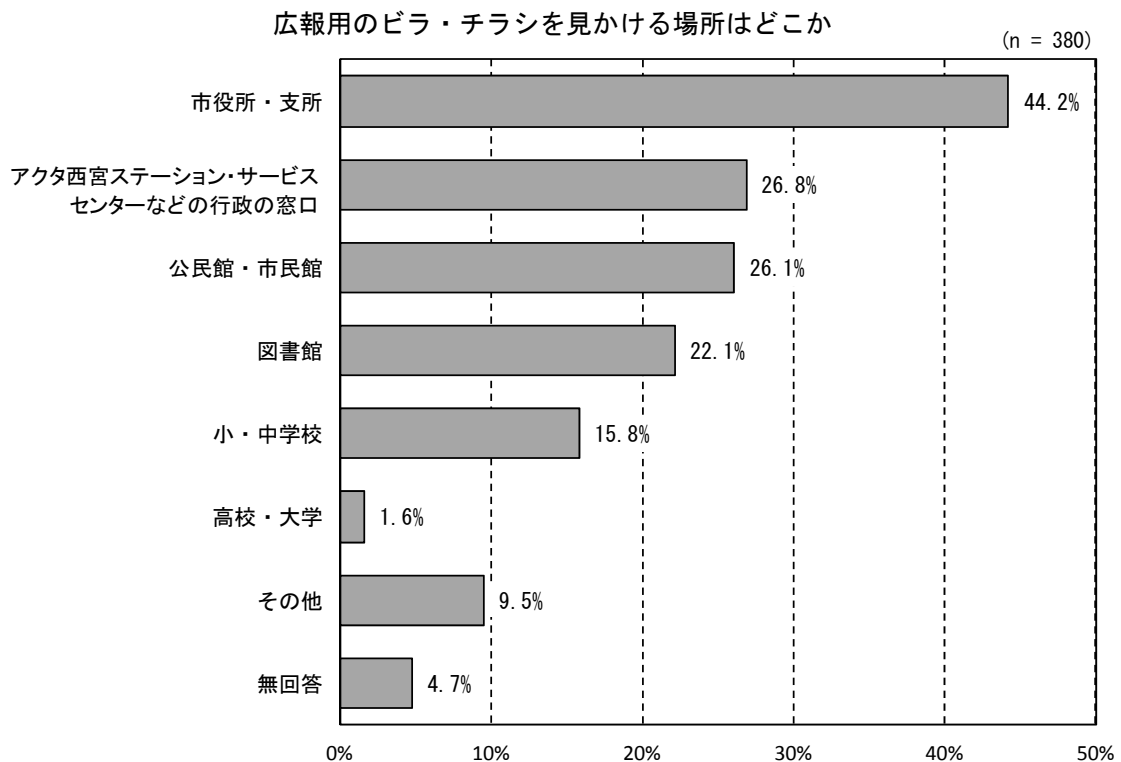
	西宮市政ニュース	広報用のビラ・チラシ	ホームページ	SNS (フェイスブック、ツイッターなど)	ケーブルテレビ 「フロンティアのみや」	カナルM	地域情報誌 「宮っ子」	新聞	その他	無回答
全体(n=1926)	79.9	19.7	6.4	4.7	4.9	2.1	55.7	22.2	2.2	4.8
男性 20～29 歳(n=45)	31.1	17.8	13.3	37.8	2.2	0.0	31.1	17.8	4.4	6.7
男性 30～39 歳(n=73)	69.9	20.5	11.0	2.7	4.1	1.4	50.7	12.3	2.7	5.5
男性 40～49 歳(n=120)	74.2	18.3	12.5	8.3	1.7	1.7	51.7	20.8	3.3	4.2
男性 50～59 歳(n=132)	79.5	20.5	10.6	1.5	4.5	0.8	57.6	22.7	4.5	3.0
男性 60～69 歳(n=148)	77.7	18.2	7.4	1.4	7.4	3.4	54.7	23.0	2.0	2.0
男性 70 歳以上(n=185)	81.1	15.1	2.7	1.6	6.5	3.2	50.8	29.7	2.2	8.1
女性 20～29 歳(n=75)	60.0	22.7	9.3	25.3	5.3	2.7	36.0	8.0	1.3	6.7
女性 30～39 歳(n=147)	83.0	26.5	13.6	10.2	0.7	2.0	48.3	8.8	2.0	4.1
女性 40～49 歳(n=249)	83.1	26.9	6.4	4.4	3.6	1.6	57.4	17.7	3.2	1.2
女性 50～59 歳(n=193)	87.0	24.9	6.2	3.6	9.3	3.1	65.3	28.0	2.6	1.0
女性 60～69 歳(n=220)	91.4	15.0	2.7	0.5	5.5	1.8	64.1	27.3	0.0	4.5
女性 70 歳以上(n=262)	81.7	13.0	0.8	0.0	4.6	1.9	61.8	31.3	1.5	9.2

※表内の網掛け部分は、全体を10ポイント以上上回るものを示している。

問 16 問 15 で、「広報用のビラ・チラシ」に○を付けた方にお聞きします。広報用のビラ・チラシはどこで見ましたか。(あてはまるものをすべて選んで○)

「広報用のビラ・チラシ」を見た場所で最も多いのは「市役所・支所」。

- 広報用のビラ・チラシを見た場所として最も多い回答は、「市役所・支所」で 44.2%、次いで「アクタ西宮ステーション・サービスセンターなどの行政の窓口」が 26.8%、「公民館・市民館」が 26.1%となっている。
- その他としては、主に「ポスティング」や「回覧板」、「地域の掲示板」などという回答があった。



## 施策に向けての一言 <平和施策の推進について>

平成も 29 年を数え、戦争を経験した世代が少なくなり、戦争体験を聴くことも難しくなってきた。そのような中で戦争被害の深刻さと平和の尊さを伝えるためにはこれまで以上の努力が求められる。

問 9 は西宮市とともに平和施策事業を推進している「原水爆禁止西宮市協議会（原水協）」の存在を知っているかを確認した設問である。全体としては約 18% が知っている、約 77% が知らないと回答している。性別年代別に見ると知っているという回答が最も多いのは 70 代男性（約 40%）で、60 代女性がそれに次ぐ（26.8%）。今後は若年層への働きかけを強めることが望ましいであろう。

西宮市には西宮市平和資料館（以下平和資料館と略称する）があり戦災資料が展示されている。これは平和の尊さを伝える上で貴重な資源である。問 10 はその平和資料館の存在がどの程度知られているかを確認している。その結果によれば、およそ 4 分の 1 の回答者が平和資料館の存在を知っている。逆に言えば 4 分の 3 近くはその存在を知らないことになる。年齢別の分布をみると、知っている割合が高いのは 70 代でそれ以下の年代の多くの人々には知られていないので、広報努力を検討する必要があるだろう。この調査では小・中・高の児童や生徒は調査対象になっていないが、その世代に資料館を訪れてもらう機会を増やすことが望ましい。

平和資料館を知っているが来館したことがない人たちに理由を尋ねた問 11 によれば、最も多く挙げられていた理由は「自宅から遠い」であった。現在西宮市のホームページには西宮市平和資料館所蔵資料の紹介のページがあるが、これを充実させることによって資料館の存在をさらにアピールし、より身近なものに感じてもらう工夫も検討すべきかもしれない。

平和啓発行事への参加経験について尋ねた問 12 によれば、どれにも参加したことがないとの回答が 9 割を超えている。もちろん時間的な都合はあろうが、問 13 によればそもそも行事の存在が知られていないということがうかがえる。西宮市が主催するイベントを知る媒体としては問 15 にあるように西宮市政ニュースならびに地域情報誌「宮っ子」の比重が大きい。ただし若年層は SNS から情報を得ているようで、今後はここも重視すべきかもしれない。スマートフォンの普及は若年層にとどまらず広がっている。スマートフォンによる情報検索は容易であるから、それに対応した広報体制の整備を検討すべきであろう。

（関西学院大学 山田真裕）